

南区 大通コミュニティ協議会

活動名：高齢者生活支援事業 “思いやりネット”

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域全体が、核家族を中心としたベッタウンであり将来の高齢化に伴い、老人世帯（1人暮らし）の増加する中で早くから事業（活動）に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

早期に事業（活動）を初め問題点の改善を含んだ生活支援システムの構築を図りました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

同様な高齢者生活支援事業を展開している自治会の見学や行政からの資料の勉強会に出向き生活支援システムを構築しました

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

支援を受ける側、支援スタッフも増加しており地域内での活動が徐々に増加してきている中で、地域内で思いやりによる相互援助の必要性が再認識されてきています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動項目、負担費用等の活動内容の選択に悩みましたが、他に活動している団体の事例を基に設定しました。
支援スタッフの確保については地域内で協力者を募集した所、思っていた人数以上の参加をいただきました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

活動開始から6ヶ月が経ち、支援時のトラブル対応や支援内容の拡大の必要性などの課題に対し、支援スタッフ達との会合を行い出来る内容での活動にしていきたいと考えています。

南区 月潟コミュニティ協議会

活動名：地域と学校ふれあいネットワーク事業 「地域と学校 ふれあいコンサート」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

核家族化や少子化で、世代間の交流の減り、地域と学校の関係が希薄になっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域と学校が連携を深めることで、地域の人と子どもたちが関わる機会を作る。

コミ協が全ての段取りをするのではなく、学校を会場にして子どもたちに会場準備や後片付けなど役割を担ってもらう。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

プロの音楽家を迎え、質の高いクラシックの演奏を地域の人、子どもたち一緒に楽しんでもらった。クラシック演奏のほか、中学校吹奏楽部とのセッションも行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

月潟出張所、月潟中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

難しいイメージがある室内楽を身近に感じることができ、とても好評だった。

地域と学校が連携し一緒に何かをやり遂げるといった経験が地域の一体感の醸成の一助となった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

何度かコミ協と学校と打合せを行ったが、初めてのこともあり意思の疎通がうまく行かないところもあった。今後は、学校との窓口の確認、及び担当者の選定、開催までのスケジュール等きっちりと決めるなど、情報の共有をしておかなければならない。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

昨年の反省を踏まえ、各団体や各人の役割分担と情報の共有をしていく。また、より多くの方から参加してもらうため、内容に変化を加えながら楽しめるものを作って行きたい。



南区 鷺巻地区コミュニティ協議会

活動名：桜・灯ろう祭り

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成26年春に桜遊歩道公園が整備されたことに伴い、竣工記念をかねて観桜客や地域の方から広く憩いの場として利用していただくために、大人も子どもも楽しめる祭りで地域の活性化を図り、公園内の環境美化活動にも力を注いでいくことがきっかけです。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

環境エコ活動として、桜・灯ろう祭りに参加する子どもたちからキャップのついたペットボトルの空き容器を持参してもらい、そのペットボトルを利用して手作り灯ろうをつくり、灯ろう流しをおこないました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ポスター、チラシ、看板などで周知を行いました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

大通コミュニティ協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

桜の開花時期に多くの観桜客が訪れ、桜・灯ろうまつりを楽しみにしている方が増えました。また日常の散歩やジョギングをする人、魚釣りをする人なども増え、地域交流の場として活性化しています。また、地域の人がゴミ拾いや、草刈りなどをし、公園内をきれいにしようという環境美化意識が向上しています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

毎年桜の満開時期、天気、気温が読めないため、祭り開催日のコンディションの状況判断に苦労しました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

桜・灯ろう祭りのイベントとして小学生、中学生の活動発表の場を提供できるように、早めに学校への周知体制を整え、学校との連携協力をお願いしていきたい。



南区 味方地区コミュニティ協議会

活動名：大凧文化伝承事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

味方地区の伝統文化である大凧合戦において、高齢化の進行などにより、伝統文化継承のため、後継者育成が必要になっている。そのため、未来の担い手となる子供たちへ伝統文化継承の必要性、地域を大切にすることの重要性を教える必要があった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

味方小学校 40 周年記念に絡め、子供たちが大凧各組から各工程の指導を受け大凧を作成し、白根大凧合戦で 40 周年記念凧を揚げることにより、伝統文化継承の必要性、地域を大切にすることの重要性を学ぶ。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

5 月 11 日～6 月 1 日 各大凧組から大凧の製作指導、子供たちによる記念大凧の作成
6 月 5 日～9 日 記念大凧を白根大凧合戦で上げた
7 月 18 日 事業報告チラシを全戸配布

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

味方側大凧の各組

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

伝統行事に関わり、地域を誇りに思う心、地域を大切にすることを育むことができた。
また大人たちとともに凧作成、凧上げに関わることにより、地域に協力していることを認識させることができ、子どもたちの地域づくりに対する心を育むことができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大凧作り工程の子どもたちへの指導。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も子供たちへ大凧製作指導等を継続していきたい。また、小学生だけでなく中学生への指導も必要と思う。

